



平成28年1月7日

【照会先】

健康福祉部 健康増進課 成人保健グループ  
(担当者氏名) 福田 充男  
(電話) 0285-52-1116  
(FAX) 0285-52-3712

報道関係者 各位

### 救急医療を考える講演会の開催について

夜間や休日に「日中よりも空いている」などの理由で救急医療機関に受診すると、救急外来が混み合い、本当に治療が必要な患者への対応が遅れてしまう恐れがあります。

そこで、下野市の救急医療の現状について知り、今後、救急医療を充実するために、医療機関・市民・行政が相互の理解を深め、問題を共有し、何をすべきか、何ができるかを考えていくことを目的として開催します。

#### 概要

##### 講演会の概要

- 1) 開催日時 平成28年2月21日(日) 午後2時から
- 2) 開催場所 国分寺公民館大ホール
- 3) 内 容 下野市における救急医療の現状説明  
    《講演》  
    第1部 演題「かかりつけ医」の必要性  
    第2部 演題「自分が変わると地域が変わり、地域が変わると医療が変わる」

※詳細は別添資料を参照願います

※記事にする際の注意事項

# 救急医療を考える講演会開催要領

～救急医療を充実するために、何をすべきか、  
何ができるか、いっしょに考えてみませんか～

## ■目的

高齢化の進展に伴い、医療需要が増大する中で、医療機関がそれぞれ役割分担を行うために、「かかりつけ医」を持つことの重要性を理解してもらうことが必要です。

また、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで送り続けることができるようにするためには、医療と介護の連携が重要です。

地域全体の健康度の向上を図るために、医療機関・住民・行政が、相互の理解を深め、何が問題なのかを共有し、私たちの暮らす下野市の救急医療を充実するために、何をすべきか、何ができるかを、みんなで一緒に考えていく機会とします。

■開催日 平成28年2月21日（日）午後2時～

■開催場所 国分寺公民館大ホール

## ■プログラム

午後1：00 開場

午後2：00 開会挨拶

午後2：10

下野市における救急医療の現状 下野市健康増進課

午後2：25 講演

＜第1部＞

「かかりつけ医」の必要性 つるかめ診療所 鶴岡 優子氏

＜第2部＞

「自分が変わると地域が変わり、地域が変わると医療が変わる」

NPO法人 地域医療を育てる会 理事長 藤本 晴枝氏

午後3：50 閉会

## ■主催・共催・後援

主催：下野市

共催：小山地区医師会

後援：下野市PTA連絡協議会、下野市幼稚園連合会

# 安易な救急受診は控えましょう!

こんな経験はありませんか?

お帰りなさい。  
今日は  
遅かったのね。



夕方にお腹が痛くなって、でも  
仕事が忙しかったのと夜の方が  
空いているかなと思って、会社  
の帰りに近くの病院の救急外来  
に寄ってきたんだ。



自分の都合だけで、軽い症状で休  
日や夜間に病院の救急外来を訪れる  
「コンビニ受診」が増えています。

- 本当に治療が必要な患者への対応が十分できなくなる恐れがあります。
- 医師が休養を取れず翌日の診療に支障をきたします。

## 皆さんへのお願い

- ① 『かかりつけ医』を持ちましょう
- ② できるだけ昼間の診療時間内に受診しましょう
- ③ 夜間や休日の急な病気は、夜間休日急患診療所または在宅当番医に診てもらいましょう
- ④ 救急車が本当に必要かよく考えて利用しましょう  
(救急車を呼んでほしい症状は次ページをご覧ください)

## お子さんが急な病気や怪我のときは

### ■ とちぎこども救急電話相談

家庭での対処方法を看護師がアドバイスしてくれます。

電話番号 #8000

携帯電話やプッシュ回線以外 028-600-0099

相談時間 月曜日から土曜日 午後6時～翌朝8時

日曜日、祝休日 午前8時～翌朝8時 (24時間)

### ■ こどもの救急ホームページ

病院を受診するかどうかの判断の目安を提供しています。

<http://kodomo-qq.jp/>



おとな  
**大人**

# ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！重大な病気やけがの可能性あります。

こども  
**小児**  
(15歳未満)

**顔**

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



**頭**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

**胸や背中**

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

**手足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

**腹**

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

**意識の障害**

- 意識がない（返事がない）又はおかしい（もうろうとしている）
- ぐったりしている



**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない



**けが・やけど**

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない



**事故**

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高所から転落

**顔**

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

**胸**

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

**手足**

- 手足が硬直している

**頭**

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

**おなか**

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

**意識の障害**

- 意識がない（返事がない）又はおかしい（もうろうとしている）

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**飲み込み**

- 変なものを飲み込んで、意識がない

**じんましん**

- 食物アレルギー食を摂取した後、気分が悪くなった



**やけど**

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

**事故**

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高所から転落

**生まれて3カ月未満の乳児**

- 乳児の様子がおかしい



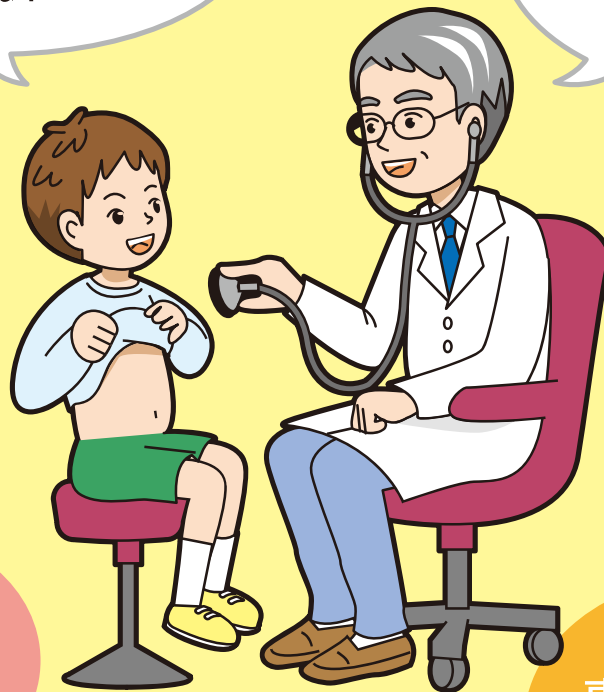
◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

# 「かかりつけ医」を持ちましょう！

- ◆救急医療機関は、便利な時間外診療をしてくれるところではありません。急な病気や怪我をした人のための医療機関です。
- ◆かかりつけ医に診てもらえるような病気で救急医療機関を利用すると、救急医療機関はパンクしてしまいます。

先生いつもありがとう  
先生がぼくの「かかりつけ医」  
だね！

太郎くんは、  
薬アレルギーがあったよね。  
太郎くんにあった薬を  
出すね。



受診しやすい

先生との  
相性が良い

専門医などを  
紹介してくれる

## かかりつけ医とは…、

ご自身やご家族の健康管理をしてくれる身近なお医者さんのことです。日常的な診療の他にも、健康相談や健康指導などについて気軽に相談できます。何でも聞ける、信頼できる「かかりつけ医」を持ちましょう！